

相手の立場になって

相洋中学校 二年 二見 結菜

「もう中学生になったのだから、もう少し相手の立場を考えて発言したり行動するようになさい。」

私は中学生になって両親からこのような注意を受けることが多くなりました。

「うるさいな」と思う一方、「相手の立場になってか」と考える自分もいることに最近気づくようになりました。

私は四人兄弟の一番上で、姉として弟や妹たちの手本になれるように振舞いたいと思う一方で、わがままで自分本位なところもあり、両親から注意されることもしばしばあります。私は、小学生のころは両親からわがままなところを注意されてもなんとなく聞き流しており、あまり自分で反省することはなかったと思います。しかし最近はどういうわけか以前のように聞き流すことが出来なくなり、自分はどう行動すべきなのか、と考えることが多くなりました。「自分はこのままではいけないんだ」と思うようになりました。

そんななか、先日ある出来事がありました。私の母は毎日、朝早く起きて私の学校で食べるお昼のお弁当を用意してくれます。毎日私が好きなものを考えて作ってくれます。しかし、その日のお弁当には、私あまり好きではないおかずが入っていたのでした。私は「お母さんは知っているはずなのに」と少しムツとしてしまい、わざとお弁当に何も手をつけずに、帰宅後そのまま母にそのお弁当箱をつき返してしまいました。その後、母がそのお弁当箱を何も言わずに洗っている姿を見たとき、母のその背中がとてもさみしそうに見え、私は母のそばにいるのがいたたまれず、自分の部屋にさっと入ってしまいました。後で分かったことですが、母はその日は朝から特別忙しかつたらしく、お弁当に十分な時間をかける余裕がなかったようなのです。その後しばらくの間、私の胸の中にはもやもやとした気持ちがあがっていました。もし私が、母と同じ立場で同じようなことをされたらと考えると、ぞつとしてしまい、私はなんてひどいことをしてしまったのだろうと思いました。そのことがあってから、「相手の立場になって」という言葉がいつも私の頭の中に浮かぶようになりました。

私は小さい頃から空手を習っており、武道では礼儀を重んじることが一番大切なことだと教わっています。単に挨拶をするだけで終わるのではなく、相手のことを尊重することが重要です。つまり礼儀とは、相手のことを認め、相手のことを考えて行動することなのです。これまではそのことを十分に理解出来ていなかったのですが、今になってようやく分かってきたように思いました。

相手に何かを発言したり行動したりする時に、自分本位で何も考えずにしてしまえば、時には相手に嫌な思いをさせたり傷つけてしまうこともあります。そうではなく、相手の立場も考えながら発言したり行動することで、そうしたことを防ぐことが

出来ます。それは思いやりの心であり、相手を大切に考える、大人として、人間として、とても大事なことのように入います。

この気持ちを忘れずに、私はこれからも、相手の立場になって考えること、思いやりの心を持つことを私の中の大事な言葉として常に意識しつつ、これからも、もっともっと大人に向かって成長していきたいと思入ます。